

|  |  |
|--|--|
| <b>シメコナゾール水和剤</b><br><b>サンリット水和剤</b>         | <b>取扱メーカー：</b><br>三井アグロ、ホクサン<br><br><b>原体メーカー：</b><br>三井アグロ          |
| <b>成分：</b> シメコナゾール〔エルゴステロール生合成阻害剤〕……………20.0% | <b>性状：</b> 類白色水和性粉末 45 $\mu$ m以下<br><b>毒性：</b> 普通物<br><b>消防法：</b> —— |

### 【品目特性】……………

- 広い抗菌スペクトラムを持ち、子のう菌類、担子菌類、不完全菌類の多くに抗菌活性を示す。
- りんごでは黒星病、赤星病、うどんこ病以外にモニリア病や褐斑病にも高い効果を発揮する。
- 植物への浸透性が優れ、予防効果に加え、治療効果も発揮する。りんごモニリア病の初期病斑形成後の治療散布で病斑進展を強く抑制する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- いちごの炭疽病は、育苗期から本圃定植時までには散布することが望ましい。
- 水溶性パック入りの製剤なので、次の事項に注意する。
  - 濡れた手でパックに触れない。
  - 外袋の開封後は一度に使いきることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使いきる。
  - 薬液の調製は容器内に所定量の水の3分の1程度を入れた後、必要量のパックを開封せずにそのまま容器内に投入する。その後、よく攪拌しながら容器内に水を定量まで加える。
- りんごに使用する場合は、次の事項に注意する。
  - モニリア病には、葉腐れの初発後すぐに散布する。
  - 斑点落葉病には、落花後20日頃までの初期防除剤として使用する。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（なし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- さくらの効果菌核病に使用する場合は、品種・栽培条件などによって薬害を生じるおそれがあるので、使用者の責任においてあらかじめ薬害のないことを確かめてから使用する。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、桑葉にかからないように注意する。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 貯蔵上の注意：水溶性フィルムで包装した製剤は、吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を強く閉じて保管する。



